

祝  
櫻井神社・高祖神社  
国指定重要文化財

# 能奉納祭

舞囃子

狂言

新作能

高砂

高山

伊都国 さくらい

久保誠一郎

野村 万緑

森本 哲郎

多久島法子

吉住 講

◆日時

令和5年**11月23日**(祝)

午後6時始/午後7時半終了予定

◆会場

櫻井神社神楽殿

(雨天の場合は拝殿)

◆駐車場

桜井グランド

◆入場料

無料/三百席(先着順)

【問い合わせ】

一般社団法人糸島市観光協会

TEL092(322)2098

主催/櫻井神社・高祖神社 国重要文化財指定を市民で祝う会

主催者挨拶

この度、櫻井神社と高祖神社は令和五年六月二十三日付けで文化審議会より、文部科学大臣に対して、国指定重要文化財（建造物）に指定するよう答申され、同年九月二十五日に指定されました。このことは先人たちから引き継がれてきた伝統や文化の継承はもとより、地域や関係者の皆様の長年にわたる保存活動が実を結んだものであります。私たち市民にとっても大変栄誉な事であり、この慶事を市民あげてお祝いするべく、糸島花手水・イルミネーション・奉祝幟などを糸島のあらゆる所に設置し、奉祝の機運を高め、糸島の魅力を更に発信して参ります。

実行委員長 田中信彦

祝 櫻井神社・高祖神社 国指定重要文化財

能奉納祭

ごあいさつ

実行委員長

田中 信彦

解説

観世流能楽師

森本 哲郎

舞囃子

高砂

住吉明神 久保誠一郎

大鼓 白坂 保行  
小鼓 飯富 章宏

太鼓 田中 一彦  
笛 相原 一彦

狂言

盆山

盗人 野村 万禄

何某 上杉 啓太

後見 吉良 博靖

新作能

浦姫の神霊 多久島法子

二見ヶ浦大龍神 森本 哲郎

伊都国さくらん

櫻井神社の神官 吉住 講

大鼓 白坂 保行  
小鼓 飯富 章宏  
太鼓 田中 一彦  
笛 相原 一彦

後見 井内 政徳

地謡

今村嘉太郎  
久保誠一郎  
山口剛一郎

《解説》

◆舞囃子 高砂(たかさご)

住吉明神が力強い舞を舞い、天下太平を祝福する。

◆狂言 盆山(ぼんさん)

ある所に盆山(高級な盆栽)をたくさん所有している主人がいました。そこへ盗人が泥棒に入り盆栽を物色していると主人が帰ってきます。主人は盗人に気付きますが、いじめてやるうといたずらを思いつきます。さて結末は？

今回は、狂言師 野村万禄が、櫻井神社・高祖神社 国指定重要文化財指定のお祝いに、特別にめでたい演出を致します。

◆新作能 伊都国さくらん

時は戦後間もない昭和二十一年 秋。櫻井神社の神官が登場、櫻井神社は昔より、医療・学問に力を入れ、文政八年には櫻井神社に櫻井文庫が創設された事、戦火から逃れ無事であった事は、神社を守護している神のお陰であることなどを語る。また、翌年一月、十二家族が糸島の地を農業開拓するため入植、これより、多くの人々が糸島の地に來る事となるだろうと語る。

さらに、昨日、不思議な夢を見た事、神社の岩戸を開いた浦姫の神霊、二見ヶ浦の海宮を守る大龍神が今宵現れるという事を語り、神の出現を待つ。岩戸が鳴動し、五穀豊穡を司る浦姫の神霊が現れ、舞を舞う。続いて、海路が開け、二見ヶ浦を守る大龍神が現れ、力強い動きを見せ、学堂がそびえ、学びの都となることを予見し、糸島の守護を約束して海下の童宮へと去る。

作・節付/森本哲郎  
協力/櫻井神社